



応援しよう!

小平に本拠を持つプロのオーケストラ 「東京コダイラ・シティ管弦楽団」

4/24 ルネこだいらで記念演奏会

指揮者 新田敏則さん

小平市の名前を冠した「東京コダイラ・シティ管弦楽団」が4月24日に産声を上げる。演奏者はすべてプロ、小平市をはじめ東久留米市、国分寺市など多摩地域在住の団員が多い。このプロ集団を率いるのが指揮者の新田敏則さん(63歳)だ。

新田さんは岩手県釜石市の出身。釜石南高校(現在の釜石高校)の吹奏楽部で活躍し、国立音楽大学へ進学。クラリネットを専攻し、音楽教師を目指していたが、高校時代、創部して間もない吹奏楽部を指導し、育てた経験を持つ新田さんは、大学の恩師から指揮者の道を選ぶよう勧められた。

大学卒業後、東京芸術大学の教授に指揮を学び、26歳から2年間、パリに留学し、フランス指揮界の重鎮、ジャン・マルティノンに師事。妻の照子さんとともに新婚時代をパリの街で過ごした。

帰国後は若い演奏者と協力して東京アカデミア交響楽団(後に東日本交響楽団)を立ち上げ、指揮者として活躍。1994年には東京多摩交響



右が後援会長の前田さん

楽団を創設し、多摩地域のみならず、日本各地で演奏会を催している。昨年は岩手と青森へ向き、クラシックの生演奏を聴く機会に恵まれない町々で、30人編成のオーケストラ公演を開催した。小学校、中学校の音楽鑑賞会、夜は一般向けと1日に3回演奏した日もあったが、アンコール後、聴衆はスタンディングオベーション。演奏者も感動に満ちた演奏旅行だった。

応援団長は前田前小平市長

市民オーケストラなどのアマチュア楽団は各市にあるけれど、地域のプロオーケストラは近隣にはない。「ヨーロッパではコンサートホールができる」とそこを本拠地とするオーケストラができるものです。小平市は20万人近い人口があり、ルネこだいらがあり、何かあっていい。自治体で持つことは難しいと思ったので、私自身が立ち上げ、若いオーケストラを育てたいと思いました」

昔、指揮者の岩城宏之さんから「指揮者は40、50代はひよこ、60歳過ぎて本当の味が出てくる」と言われた。63歳の今、それを実感している。機が熟したのかもしれない。

んのでこのオーケストラを育て、根付かせてほしい。小平は小平第三中、第六中と全国吹奏楽コンクールトップレベルの中学がある、音楽の土壌豊かな街なのだから。

「モーツァルトがうまく演奏できるオーケストラは優秀といわれますが、今回はモーツァルトの交響曲「ハフナー」が私とオーケストラへの課題です。私たちの演奏をどうぞ聴きにいらしてください」。公募した合唱団による「日本の歌曲」を歌うプログラムも用意されていて、楽しい演奏会になりそう、2回目も秋に予定されている。

を近場で気軽に聴けるとともに、他市へ向けて発信することもできるのだ。「市の名前がついたオーケストラの意義を皆で考え、発展させてほしい。そして小平の誇りになってほしい」前田さんの希いである。

地域の人々で大切に育てていこう

180センチを超える長身をブルージーンズと革ジャンで包んだ普段着の雰囲気も、ただならぬ芸術家を感じさせる新田さん。けれども話し振りは気取らず、気張らず、自然体で実に親しみやすい方だ。

今回の記念演奏会は公的資金やスポンサー企業の援助があるわけではなく、会場費、チラシ、ポスターなどすべて新田さんの自前。チラシとポスターは故郷の高校後輩が格安でデザイン、印刷してくれた。長年の実績と人脈があるので、演奏者も快く集まってくれた。

63歳の新しき挑戦、公演の準備のため東奔西走する日々。「将来の夢はゲスト演奏者をウイーンなどから招くこと」。新田さんを応援するために、ぜひ演奏会に出かけ生の醍醐味を味わいたいもの。そして地域のみな

小平在住だった新田さんは小平の前市長、前田雅尚さんに相談した。前田さんが助役時代からの20年来のつきあいである。折しも前田さんは若手ヴァイオリニストの登竜門であった市の「江藤俊哉ヴァイオリンコンクール」が2009年第11回で中止されたことに残念至極の思いがあった。諸般の事情とはいえ市の音楽文化の灯が消えたのである。そこへ再び灯をともしたい。

「小平を本拠地とするオーケストラをつくり、定期的に演奏会を持ち、それを育てながら小平の文化発展に寄与したい」そんな思いが一致して、前田さんが後援会長を引き受けた。

前田さんに久し振りにお会いしたが、喜寿を迎えられるとは信じがたいほど、澁刺としてとてもお元気だ。「私は戦後間もない頃、ベートーベンの『運命』を生で初めて聴いて、背中がゾクゾクして、鳥肌が立ったんですよ。ああ音楽が聴ける環境になったんだという思いもあって、1回聴いてほれ込み、以来クラシックファンになりました」と当時を振り返るようにニコニコと語る前田さん。

今はいつでもどこでも聴ける幸せな時代。だから機会を逃し易いのかも知れない。しかし今回の立ち上げは、技量の高い、おらが街のオーケストラ

東京コダイラ・シティ管弦楽団 第1回記念演奏会

4月24日(日)2時開演 ルネこだいら 大ホール
入場料 [全席指定] A席 3,900円/B席 3,300円/
C席 2,200円

チケット取扱い ●ルネこだいら ●サウンドエッセンス・ルネ(小平駅南口) ●アサダ楽器(花小金井) ●宮地楽器小金井店 ●国立楽器 *チケットの郵送可(4月10日までに問合せ先へFAX、メール、お電話で) ☎090-8779-6408 FAX0438-36-6017 (ニッタ) 090-4178-5509 (マエダ)
e-mail: sym.crea@jcom.home.ne.jp